



福山市立大学研究生で学び直し!! **連載**

プロフィール

意見広告

村上 栄二です。

各種SNSやってます!

りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市会議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元に戻りたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き、皆様にとって有益な情報を提供できますよう、福山市立大学の研究生として学びを続けて参ります。本年が皆様にとって飛躍の年となりますように。

DXは何を変えるのか?

長引くコロナ禍で私たちが正確に認識すべき事は、**アナログ・デジタル・スマホ世代の知覚差異**である(黒電話・ガラケー・スマホの差異とも表現できる)。ダイヤル式の黒電話がファックスやメールに変わり、動画により情報が早く大容量で届けるようになったのは、アナログからデジタルへの技術革新の賜物である。スマホ世代はメールや音声通話に加え、GPSを使った位置情報とマップ機能、クレジットカード・電子マネー決済機能を持ち、通信販売・タクシー配車・レストラン、ホテル、シェアカー、レストラン予約まで利用できるようになり**物流・消費行動すべてに変化を与えた。**



こうした変化に対して、福山市では令和3年豪雨災害により羽賀橋が崩落し、御幸町羽賀自治会は橋の設置に関する嘆願を出している。羽賀橋は上流の橋と下流の橋の間隔が長く、その隙間を埋める様に配置されており、地域住民には長く日常的に生活道として利用されてきた。**国や市は沈下橋と呼ばれる羽賀橋について、増水時に流木等が引っ掛かり、壊れやすく災害時に流れを妨げる構造物として国から廃止検討橋の設置廃止検討という回答という対応について何かできないかと私は常々考えていた。**



引用:
ひろしまサンド
ボックスサイト
/株式会社
エイトノット

これに対し、私は**広島県が手掛けるデジタルサンドボックスなどのテクノロジー活用**で課題解決に取り組むべきだと考える。すなわち、**橋を作れば良い、どうすれば橋を架けられるのかという従来からの延長線上での議論ではなく、DX時代ならではの発想の転換こそがこれからの政治家には問われている。**例えば、エイトノット社が手掛けるEVロボティックボートを用いた水上オンデマンド交通の実現は、**海上とともに河川での実証実験を始めていく事も可能ではないか。**(要は無人数・海上ドローン)広島県事業のD-EGGS プロジェクトについて、私は商工労働委員でもあるため、質疑を通して少しでも前へ進められるよう、**物流は可能ではあるが人命輸送について、どのような規制緩和が必要なのかについて議論して参る所存である。**



引用:ひろしまサンドボックスチャンネル
株式会社 Marine X

福山市役所にはデジタル化推進室があり、枝広市長も積極的にデジタル行政を推進しており、また小林史明代議士もデジタル副大臣であるため、国・県・市が一体となって様々なニーズや課題を超えていけるように、引き続き、尽力していきたい。

追記:日本の一人当たりGDPは2020年時点で452万円であり、韓国より25%、台湾より42%上回っているが、試算によるとGDPの伸び率は韓国が年6%、台湾が年8.4%、日本は2%の伸びであり、**2027年には韓国を、2028年には台湾をも下回る事が明らかになっている。**デジタルに対する知見とダイナミズムな制度設計の変更をしなければ日本は取り返しのつかない状況になりつつある。

賃貸マンション、月極駐車場
「空き」あります!

Consort homes

お問合せ
有限会社 DC 開発研究所
☎ 084-999-3166
〒720-0052 広島県福山市東町 2-3-2